

地駄曳き（馬で木を曳きながら、山から運び出す作業）



謡曲道場（農閑期、結婚式などで謡う謡曲を練習した）



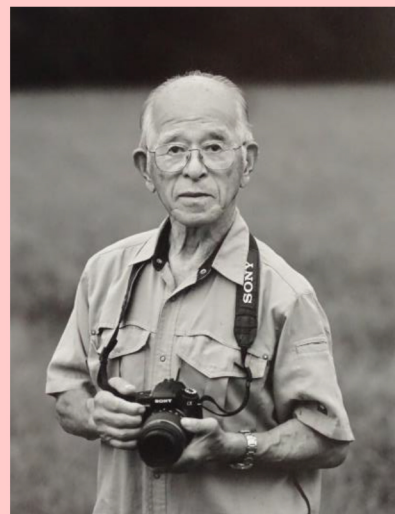
本町橋付近から九条方面を望む



萱葺き屋根の民家「熊谷家」（気仙沼で唯一の曲がり屋だった）



昭和 55 年の高潮による冠水



写真家 佐々木徳朗(令和5年撮影)



囲炉裏のある暮らし（水梨地区で最後まで残った囲炉裏）



片浜のカキ殻の山。海には海苔養殖の支柱が見える。

撮影=佐々木徳朗[Sasaki Tokuro]  
撮影時期=昭和30年代~50年代  
撮影地=気仙沼市内各所  
※本紙掲載写真の情報



「日なたぼっこ」  
（『写真集 百姓日記 気仙沼市水梨 40 年の記録』より）

当館では地域文化を足元から捉えなおす試みとして「食」と人々の暮らしの営みを紹介するシリーズ企画「食と地域の暮らし」展を2007年より開催してきました。第8回目となる本展では、気仙沼市在住の写真家、佐々木徳朗の写真から、地域の風景や「食」を含む暮らしの移り変わりについて考えます。

佐々木氏は昭和10年生まれ。昭和30年代から現在まで、約70年にわたり当地域の姿を一生活者の視点で、丁寧にカメラに収め続けています。これまで多数の展覧会や写真集の発行など、精力的に作品を発表してきました。本展では氏の膨大な写真の中から、これまで未発表だった作品も併せて約150点を公開します。

### 第8回 食と地域の暮らし展 「暮らしをウツス」～佐々木徳朗写真展～

2024 4.10 水 ▶ 6.2 日

観覧料・入館料は無料です ※5/22,23,24 は休館となりますのでご注意ください。

#### リアス・アーク美術館利用案内

- 常設展①-① 收藏美術作品展 ② 歴史民俗資料展=方舟日記-海と山を生きるリアスな暮らし- ③ 東日本大震災の記録と津波の災害史展【常設展観覧料=一般:700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小・中学生:350(250)円 ※()内は20名以上の団体料金】
- ワークショップ=主に土・日を中心に開場するアトリエ。定期的に絵画やクラフトの講座を開講しています。美術に関する質問も受け付けます。
- レストラン「キッチンベース 夢の舎」-地元食材中心の創作料理をご提供。日替りランチ(¥650)、シーフード系パスタ・カレー(¥980~)ほか

- 三陸自動車道【気仙沼中央 IC】から約5km(仙台市から約115 km/石巻市から約70 km/陸前高田市から約25 km)
- 東北自動車道【一関 IC】から約50 km ◆無料駐車場あり(普通 37 台・大型5台)
- 東北新幹線【一ノ関】-【大船渡線】-【気仙沼】/東北新幹線【仙台】-【気仙沼線】-【気仙沼】 気仙沼駅からタクシー(約15分~)をご利用ください。※「タクシー割引券」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、(一社)気仙沼観光協会 (tel:0226-22-4560)で販売中。※気仙沼線、大船渡線の一部はBRT運行。



WEBページQRコード

リアス・アーク美術館  
RIAS ARK MUSEUM OF ART

